

(12) 博物館等施設

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、郷土の資料を公開し、市民及び見学者の知識向上を図る施設として、三里塚御料牧場記念館、下総歴史民俗資料館の博物館等2施設を保有しています。

これら2施設の運営管理は、市の直営となっています。

三里塚御料牧場記念館は、旧宮内庁下総御料牧場に関わる資料を展示・公開しています。下総歴史民俗資料館は、一般展示の他に企画展を行い、資料の詳細を公開しています。

設置目的：郷土の歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管し、及び展示して市民の利用に供し、その教養の向上、調査研究等に資するため。

図表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年 (年)	構造	備考
1 三里塚御料牧場記念館	三里塚御料1-34	422.00	昭和56	RC造	
2 下総歴史民俗資料館	高岡1500	666.00	平成5	SRC造	
合計		1,088.00	—		

② 開館時間・開館日数

平成23年度の博物館等2施設の開館日数及び開館時間は、次のとおりです。

図表 開館時間・休館日

名称	開館時間	開館日数	休館日	
三里塚御料牧場記念館	午前9時～午後4時30分	283日	原則月曜日	年末年始 12/29～1/3
下総歴史民俗資料館	午前9時～午後4時30分	309日		

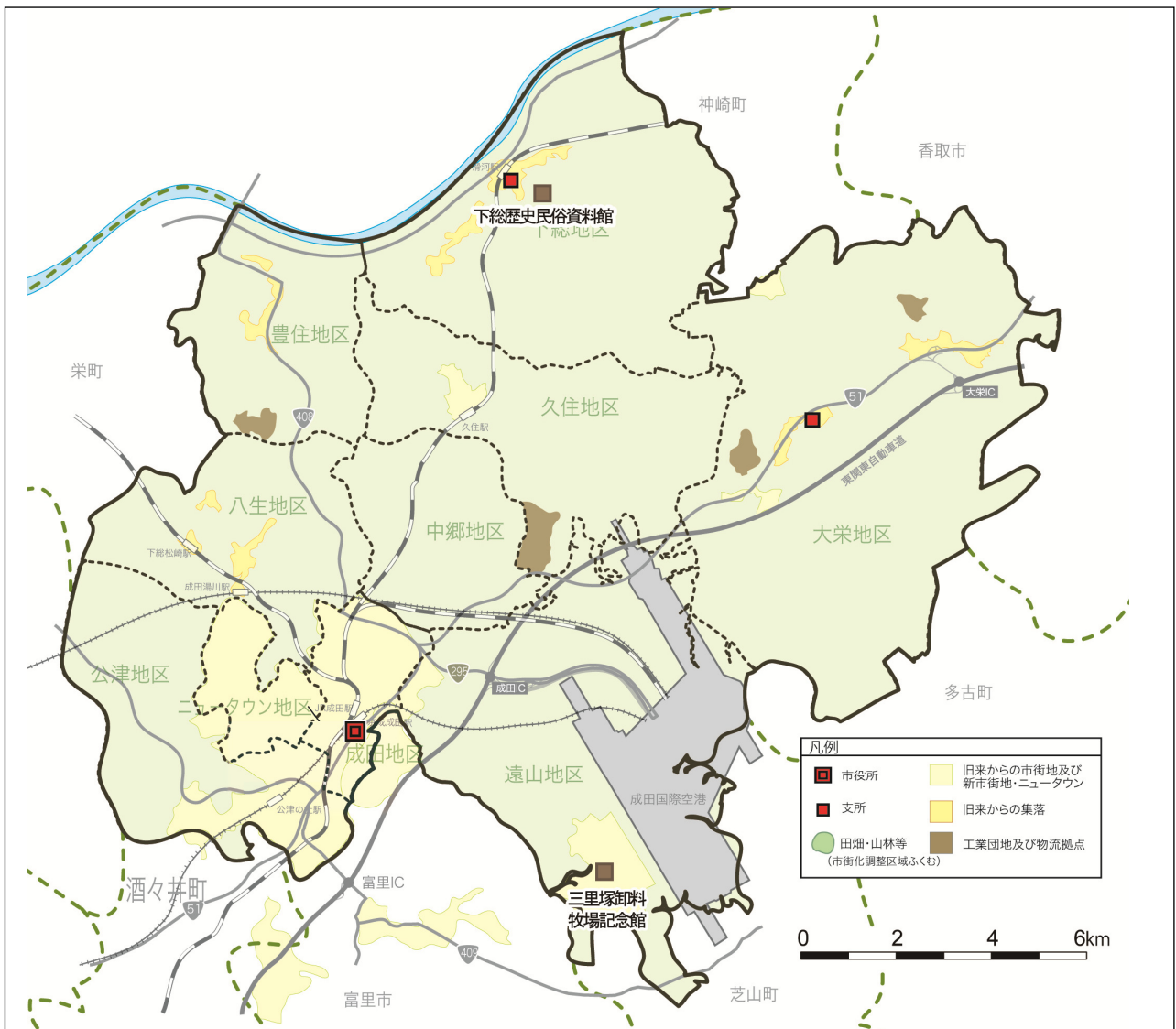
※祝日の場合は開館し、翌日が休館日となります。

※三里塚御料牧場記念館は、平成23年度に空調工事を行ったため、9月は閉館しています。

③ 予約方法・使用料金等

基本的に予約が必要な施設ではなく、また、入場は無料となっています。

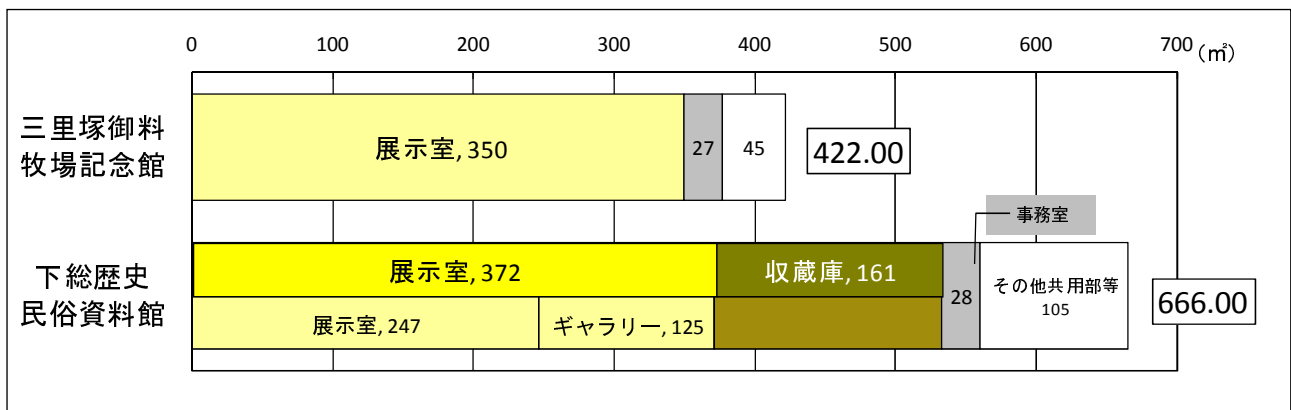
図表 博物館等施設位置図



④ スペース構成

博物館等 2 施設の規模は、三里塚御料牧場記念館は、422 m²、下総歴史民俗資料館 666 m² となっています。2 施設とも展示室を中心としたスペース構成となっており、下総歴史民俗資料館には収蔵庫があります。

図表 スペース構成



2) 実態把握

① 建物状況

■ 博物館等施設の建物総合評価結果

平成23年度の博物館等2施設の建物状況について評価を行いました。

年度	平成23	基本情報		①耐震化	②老朽化			③バリアフリー対応					④環境対応			⑤維持管理						
																維持管理費(千円)		床面積当たり(円/㎡)				
No.	施設名	建築年	延床面積(㎡)	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	規模改修後経過年数	エレベーター※1	車いす用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費
1	三里塚御料牧場記念館	昭和56	422	○	30	—	30	—	×	○	×	×	×	×	×	×	634	1,057	51	1,501	2,505	122
2	下総歴史民俗資料館	平成5	666	—	18	—	18	—	○	○	○	×	×	×	×	×	1,423	805	298	2,137	1,209	448
合計・平均			1,088														2,057	1,862	350	1,891	1,712	321

※1手すり・鏡・低い操作ボタン等
 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

記載例	実施済み = ○
	未実施 = ×
	不要 = —

博物館等2施設のうち、三里塚御料牧場記念館は、耐震改修が不要な建物ですが、バリアフリー化や環境対応、適切な維持補修等の対策が必要な施設となっています。

(パターン②)

下総歴史民俗資料館は、比較的新しい施設ですが、バリアフリー化や環境対応が必要な施設となっています。(パターン④)

	パターン② 老朽化	パターン④ バリアフリー・環境対応
評価	<p>・老朽化が進行している ⇒ 建替え又は大規模改修などの老朽化対策の検討が必要な施設</p> <p>①耐震安全性 3 ②老朽化状況 0 ③バリアフリー対応状況 0 ④環境対応状況 2 ⑤維持管理 3 差分基準: パターン以外で②=1の施設</p>	<p>・バリアフリー、環境対応が未完了 ⇒ 今後、バリアフリーや環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設</p> <p>①耐震安全性 3 ②老朽化状況 0 ③バリアフリー対応状況 0 ④環境対応状況 2 ⑤維持管理 3 差分基準: パターン1~3以外で③又は④が1~2の施設</p>
該当施設	該当施設 三里塚御料牧場記念館 建築年 昭和56 < 1施設 >	該当施設 下総歴史民俗資料館 建築年 平成5 < 1施設 >
コメント	<p>・三里塚御料牧場記念館は耐震改修工事が不要な施設ですが、築30年以上と老朽化が進行しており、バリアフリー化や環境対応、適切な維持補修等の対応が必要です。</p>	<p>・比較的新しい施設ですが、バリアフリーや環境対応が完了していないため、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望めます。</p>

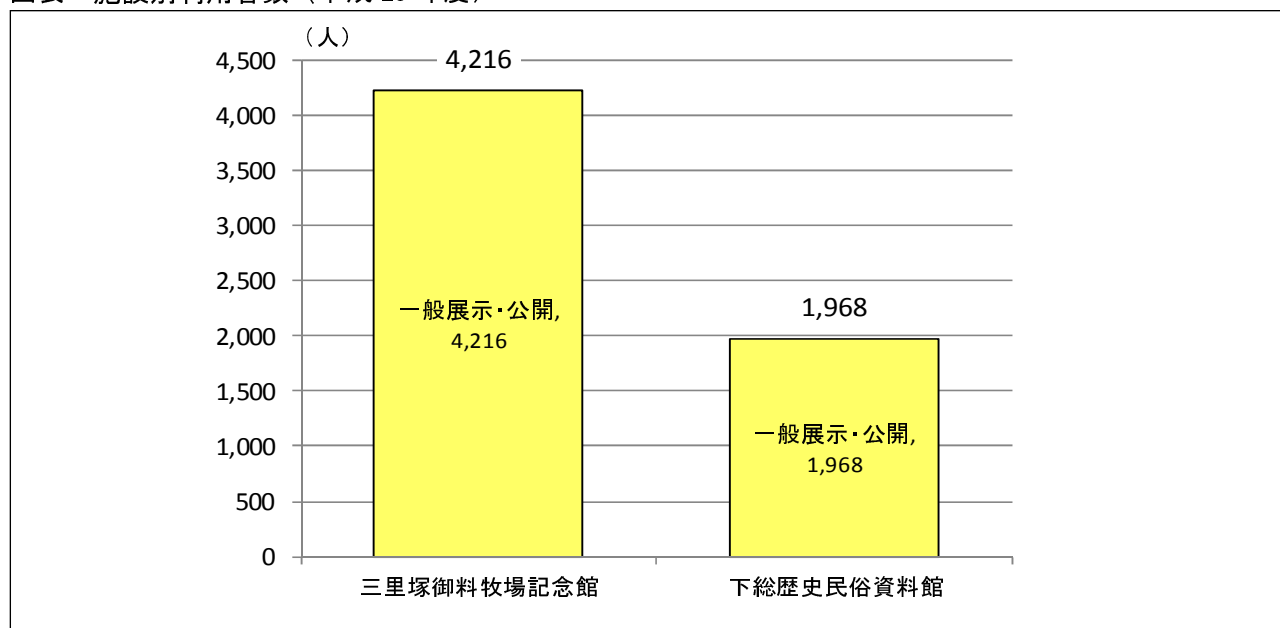
② 利用状況

■ 利用者数

平成23年度の博物館等2施設の利用者数は、三里塚御料牧場記念館が4,216人、下総歴史民俗資料館が1,968人となっています。三里塚御料牧場記念館は、同じ公園内にある人気のスポットや、近隣学校の団体利用等により、利用者数が増加傾向にあります。

いずれの施設も展示・公開の利用となっています。

図表 施設別利用者数（平成23年度）

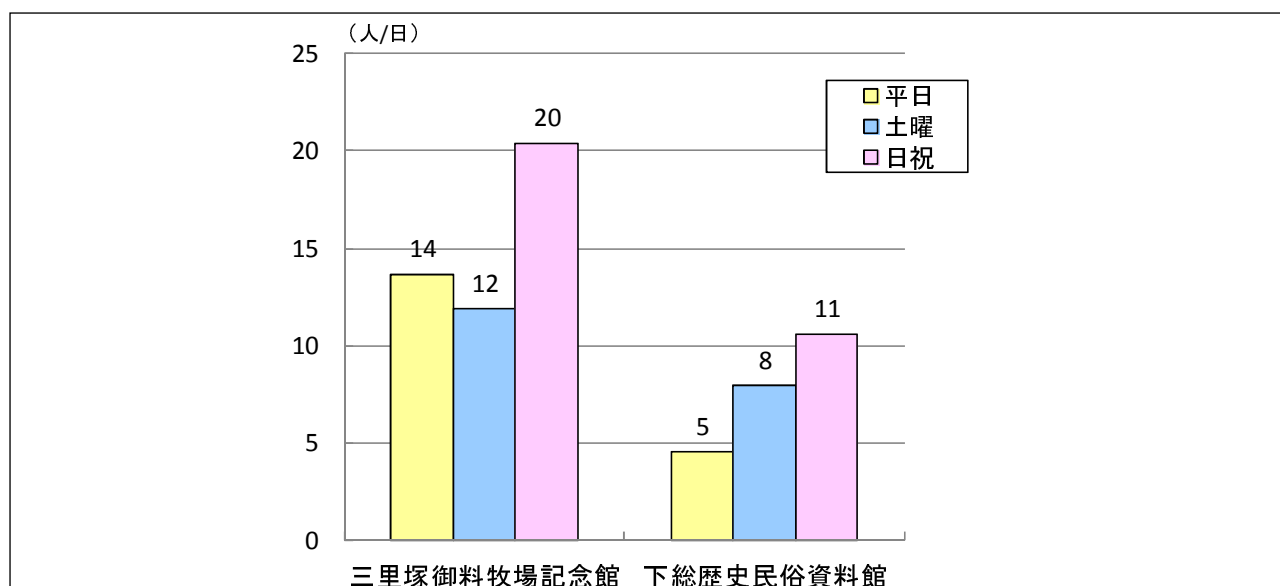


■ 曜日別利用状況

平成23年度の博物館等2施設の曜日別（平日/土/日祝日）の1日当たりの平均利用者数は、三里塚御料牧場記念館は、土曜日の利用が最も少なく、日祝日の利用者が平日・土曜日の約1.5倍となっています。

下総歴史民俗資料館は、日祝日の利用者が最も多く、次いで土曜日となっています。また、日祝日の利用は、平日の約2倍となっています。

図表 平日/土曜/日祝日別の利用状況（平成23年度）

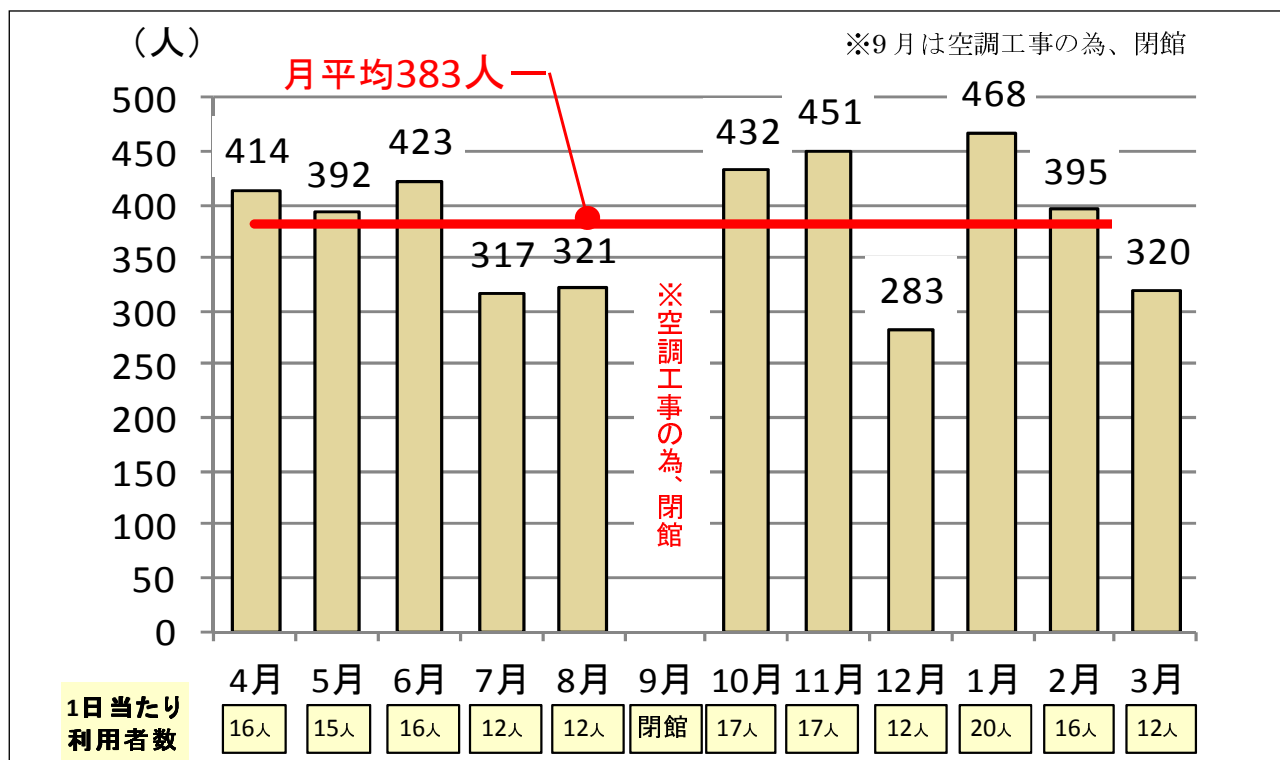


■ 施設別の利用状況

【三里塚御料牧場記念館】

三里塚御料牧場記念館は、平成23年度の月別利用者数では、最少では12月の283人から最大では、1月の468人で月平均利用者数は約383人となっています。1日当たりの利用者数をみると、約11人から18人となっています。

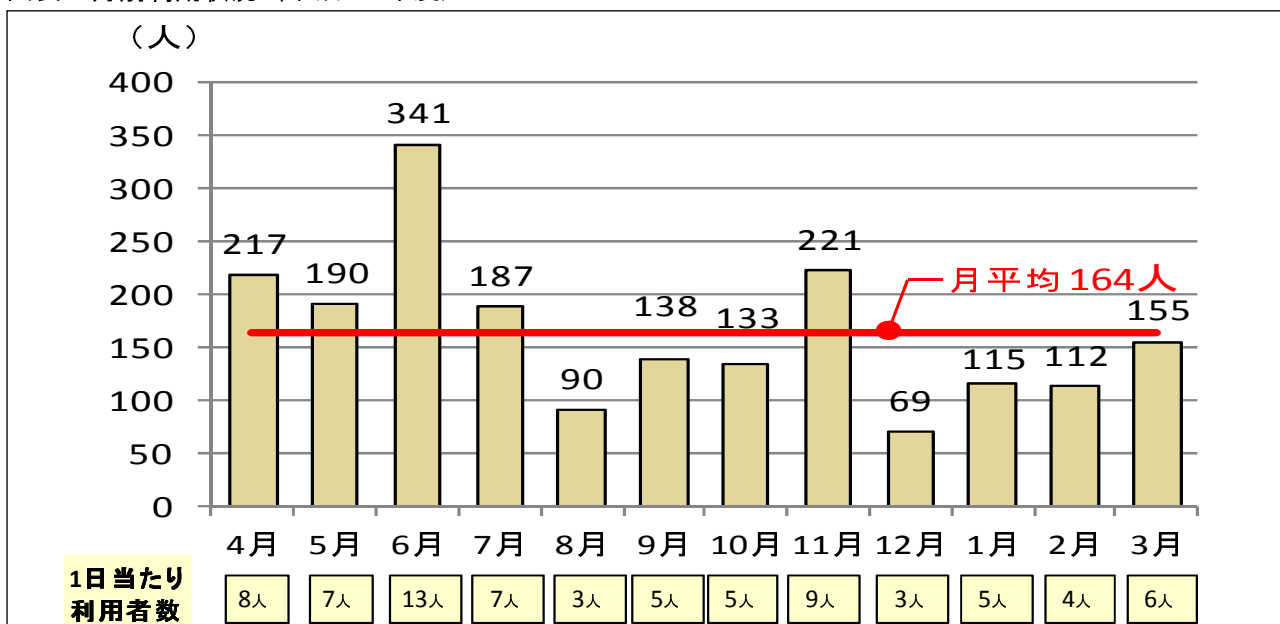
図表 月別利用状況（平成23年度）



【下総歴史民俗資料館】

下総歴史民俗資料館は、平成23年度の月別利用者数では、最少では12月の69人から最大では、6月の341人と月により差がみられます。1日当たりの利用者数をみると、6月を除いたすべての月で、10人/日を下回っており、一年を通して利用者数が少ないことが分かります。

図表 月別利用状況（平成23年度）



③ 運営状況

平成23年度の博物館等2施設の管理運営は、いずれも市の直営施設となっています。

施設別の運営人員は、三里塚御料牧場記念館は、受付・案内業務と施設維持管理合わせて2人、下総歴史民俗資料館は企画・開催と受付・案内業務と施設維持管理合わせて4人が従事しています。

運営体制は、三里塚御料牧場記念館1日当たり1人で、下総歴史民俗資料館1日当たり3人で運営しています。

図表 運営人員（平成23年度）

(人)

		三里塚御料牧場 記念館	下総歴史民俗資 料館	合計
各種講座・ 企画・開催	一般職員	0.0	0.3	0.3
	非常勤職員	0.0	0.0	0.0
	その他人件費	0.0	0.0	0.0
	計	0.0	0.3	0.3
施設利用に 受付・案内	一般職員	0.0	0.4	0.4
	非常勤職員	0.0	1.0	1.0
	その他人件費	1.0	0.5	1.5
	計	1.0	1.9	2.9
施設維持	一般職員	0.0	0.3	0.3
	非常勤職員	0.0	1.0	1.0
	その他人件費	1.0	0.5	1.5
	計	1.0	1.8	2.8
合計	一般職員	0.0	1.0	1.0
	非常勤職員	0.0	2.0	2.0
	その他人件費	2.0	1.0	3.0
	合計	2.0	4.0	6.0

図表 運営体制（平成23年度）

	8:30	12:00	17:15
三里塚御料牧場記念館 平日(火～日・祝日) 運営体制 1日当たり 1人			
	非常勤職員(社会教育指導員) 1人		
下総歴史民俗資料館 平日(火～日・祝日) 運営体制 1日当たり 3人			
	一般職員1人		
	非常勤職員 1人		
	非常勤職員(社会教育指導員) 1人		

④ コスト状況

平成23年度の博物館等2施設の年間トータルコストは、3,327万円でした。内訳をみると、施設にかかるコスト（一般職員人件費、改修費、光熱水費等）が1,671万円とトータルコストの約50%を占めています。事業運営にかかるコスト（一般職員人件費、非常勤職員人件費等）は1,023万円（約31%）、減価償却相当額は633万円（19%）となっています。

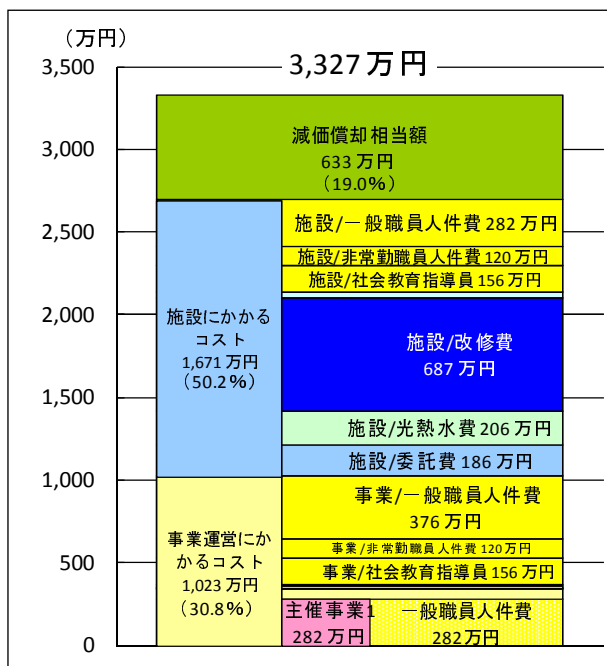
施設にかかるコスト1,671万円のうち、三里塚御料牧場記念館の改修費が687万円で、施設にかかるコストの約41%を占めています。

事業運営にかかるコスト1,023万円のうち、人件費が934万円と事業運営にかかるコストの約91%を占めほとんどが人件費となっています。

図表 施設別行政コスト計算書（平成23年度）
(円)

I 現金収支を伴うもの【コストの部】		三里塚御料 牧場記念館	下総歴史民俗 資料館	合計
施設 にか か る コ ス ト	一般職員人件費	0	2,818,381	2,818,381
	非常勤職員人件費	0	1,196,071	1,196,071
	社会教育指導員	1,038,000	519,000	1,557,000
	修繕費	51,450	298,200	349,650
	改修費	6,867,000	0	6,867,000
	光熱水費	633,507	1,423,376	2,056,883
	委託費	1,057,115	805,077	1,862,192
	施設にかかるコスト	9,647,072	7,060,105	16,707,177
事業 運 営 に か か る コ ス ト	一般職員人件費	0	3,757,842	3,757,842
	非常勤職員人件費	0	1,196,071	1,196,071
	社会教育指導員	1,038,000	519,000	1,557,000
	使用料及び賃借料	14,910	94,500	109,410
	車両・備品購入費	0	157,500	157,500
	負担金補助及び交付金	5,000	5,000	10,000
	その他物件費	95,297	527,143	622,440
	事業運営	1,153,207	6,257,056	7,410,263
	主催事業I 一般職員人件費	0	2,818,381	2,818,381
	主催事業I	0	2,818,381	2,818,381
事業運営にかかるコスト	1,153,207	9,075,437	10,228,644	
現金収支を伴うコスト 計		10,800,279	16,135,542	26,935,821
【収入の部】				
収入	使用料収入	0	0	0
II 現金収支を伴わないもの				
コスト	減価償却相当額	1,512,552	4,821,800	6,334,352
III 総括				
コストの部合計(トータルコスト)		12,312,831	20,957,342	33,270,173
収支差額(ネットコスト)		12,312,831	20,957,342	33,270,173

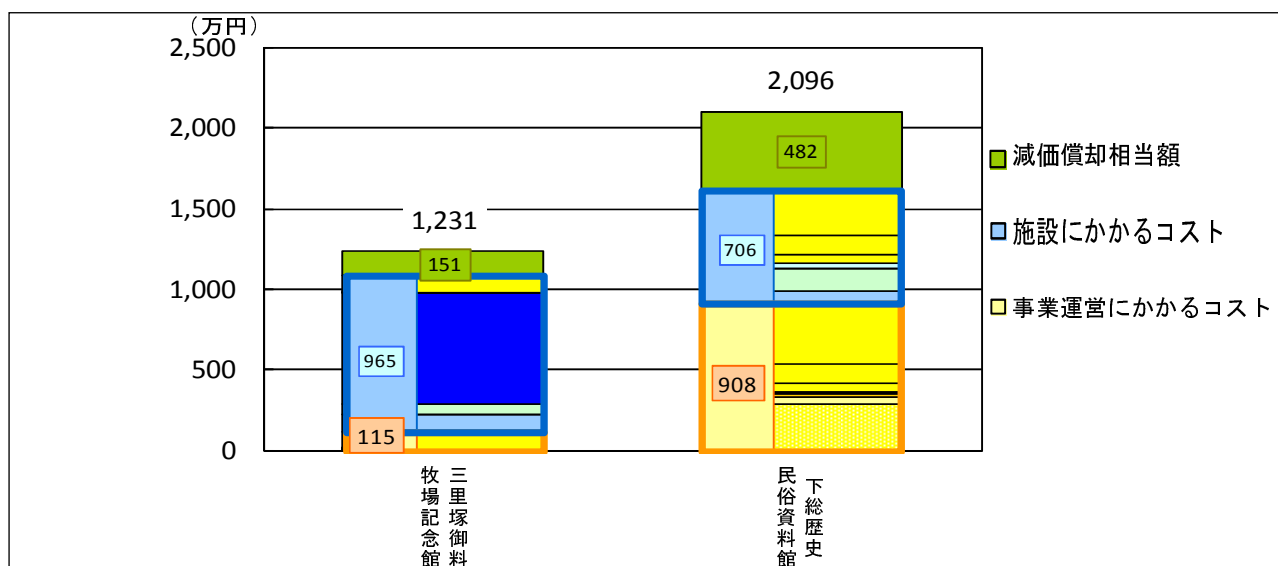
図表 全施設トータルコスト（平成23年度）



施設別でみると、三里塚御料牧場記念館の年間トータルコストは、1,231 万円です。内訳は、施設にかかるコストが965 万円（78%）、事業運営にかかるコストが115 万円（9%）、減価償却相当額が151 万円（12%）となっています。

下総歴史民俗資料館の年間トータルコストは、2,096 万円です。内訳は、施設にかかるコストが706 万円（34%）、事業運営にかかるコストが908 万円（43%）、減価償却相当額が482 万円（23%）となっています。下総歴史民俗資料館の年間トータルコストのうち人件費が1,282 万円（61%）と過半を占めています。

図表 博物館等施設 施設別トータルコスト（平成23年度）

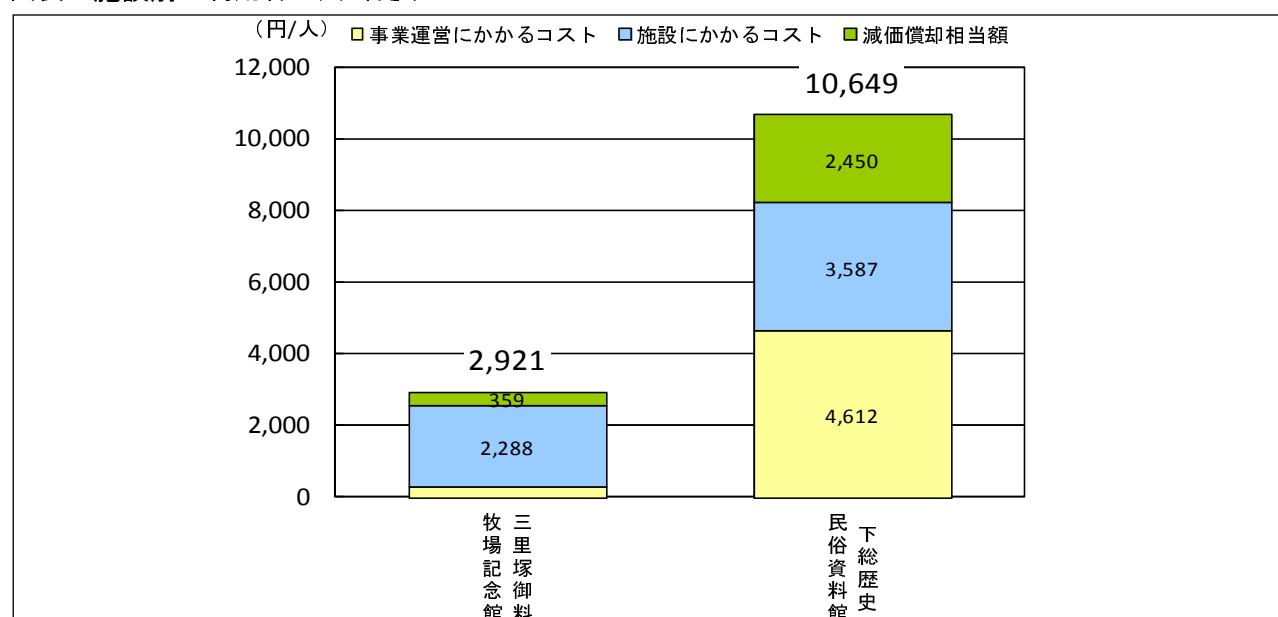


3) 評価・分析

■ 利用者1人当たりのコスト

平成23年度の年間利用者数とトータルコストから利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、三里塚御料牧場記念館が2,921 円/人、下総歴史民俗資料館が1万649 円/人となっています。

図表 施設別 利用者1人当たりのコスト



4) 今後の検討の視点

- 建物の老朽化の面では、三里塚御料牧場記念館は、築後 31 年が経過しているため、今後、老朽化対策の検討が必要になります。下総歴史民俗資料館は、平成 5 年築と比較的新しい施設ですが、バリアフリー対応及び環境対応が一部完了していないため、計画的な改修の検討が必要です。
- 「月別の 1 日当たり利用者数」は、三里塚御料牧場記念館では、少ない月で 12 人、多い月で 20 人となっています。下総歴史民俗資料館は、最も少ない月で 3 人、多い月で 13 人となっています。いずれの施設も利用者が少なく、より魅力的な企画展示等を展開することや、積極的な団体客の受入れを図る等、利用者数の増加に努めていく必要があります。
- 直営の施設であり、トータルコストのうち人件費の占める割合は約 45%となっています。外部への業務委託等を検討し、管理費の見直しを行うなど、より一層効果的・効率的な管理運営が必要です。